



2022年1月14日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ  
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一  
(コード番号: 6264 東証第一部)  
問合せ先 管理本部長 下舞 毅  
(TEL. 0996-68-1140)

### 2021年12月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2021年12月度の月次受注残高を開示いたします。

記

#### 1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	1,732	66.8%	6.5%	164.8%
F P D分野	740	28.6%	△4.7%	259.6%
その他分野	119	4.6%	1,329.4%	406.8%
合計	2,591	100.0%	7.5%	193.4%

#### 2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6
半導体分野	696	697	753	991	979	1,095
F P D分野	225	324	499	512	531	499
その他分野	88	55	27	8	27	26
合計	1,010	1,077	1,280	1,512	1,538	1,621

区分	2021/7	2021/8	2021/9	2021/10	2021/11	2021/12
半導体分野	1,122	1,209	1,399	1,486	1,626	1,732
F P D分野	478	527	533	620	776	740
その他分野	34	67	67	43	8	119
合計	1,635	1,804	2,000	2,151	2,411	2,591

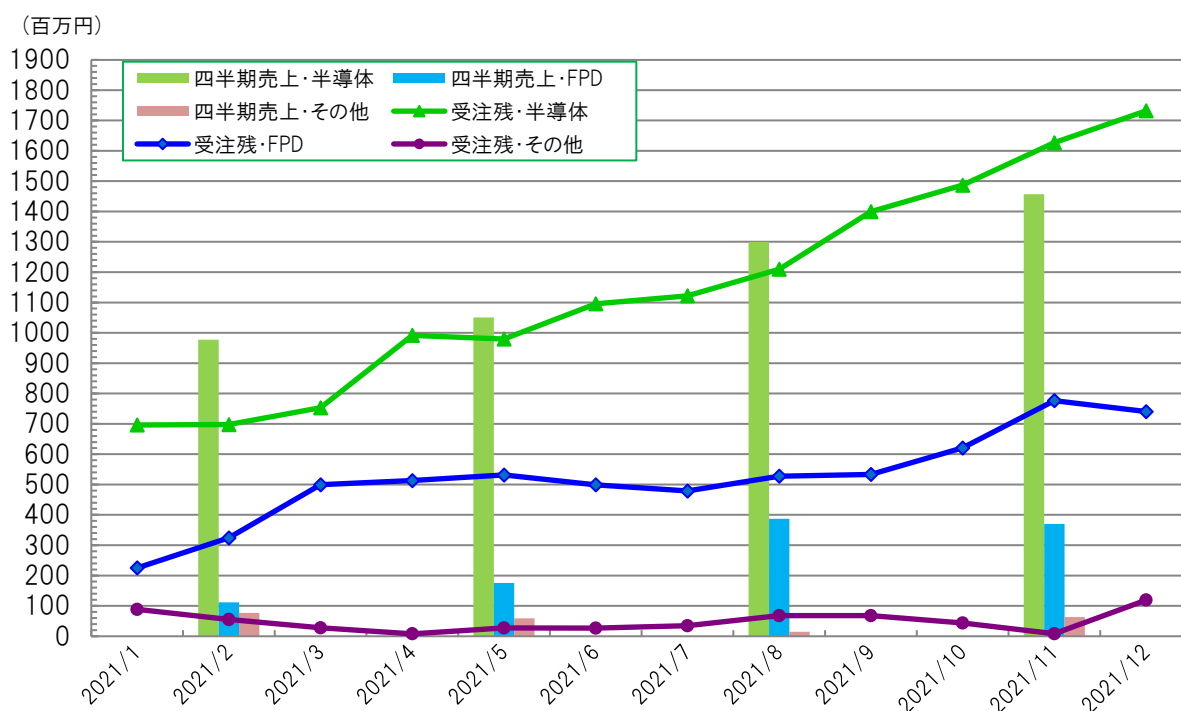
### 3. 月次受注残高の概況

2021年12月末の受注残高は、半導体分野においては、受注と出荷検収共に高水準を維持していることから、対前月増減率は6.5%増、対前年同月増減率では164.8%増の1,732百万円となりました。FPD分野においては、出荷検収が好調であったことから、対前月増減率は4.7%減、対前年同月増減率では259.6%増の740百万円となりました。その他分野においては、出荷検収が順調に推移するなか、新たに太陽電池製造装置向けの受注があったことから、対前月増減率は1,329.4%増、対前年同月増減率では406.8%増の119百万円となりました。これらの結果、2021年12月末の受注残高は、対前月増減率7.5%増、対前年同月増減率193.4%増の2,591百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、半導体分野につきましては、しばらくは高水準な受注が継続する見通しです。また、FPD分野につきましても、中小型OLED向けを中心に、好調な受注環境を予想しております。その他分野におきましては、太陽電池製造装置向けの引き合いが継続しており、受注に向けた活動を行ってまいります。このような好調な市場環境に対し、設備投資の増額を行いながら生産も拡大させていく予定です。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。

3. 当社は、一部の取引で、得意先から材料を仕入れる有償支給取引を行っています。従来は売上高に有償支給材料の費用を含めて表示しておりましたが、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用することにより、売上高から有償支給材料を除いた純額で表示することになります。

現時月の月次受注残高には9百万円の有償支給取引額が含まれています。なお、利益額に対する影響はありません。